



ご挨拶

本日は“*A-Winds*60”2022年 春の演奏会にお越し下さり、誠に有難うございます。

「こころ豊かな文化の香り高き町 大和郡山市」お城の麓“やまと郡山城ホール”で皆様方と、お逢いをする事ができましたことに、*A-Winds* 一同心より御礼申し上げます。

四季折々に開催する、*A-Winds* の定期演奏会も60回目を迎えることができました。これもひとえに我々 *A-Winds* の音楽活動をこよなく愛して下さった、皆様方の御指導御支援の賜物と、厚く御礼申し上げます。

本日は吹奏楽界の巨匠スパークの作品と、聴き馴染みのあるミュージカル作品を、*A-Winds* の“ミュージックアドバイザー”の大阪交響楽団チューバ奏者潮見裕章氏の華麗なるタクトにて披露致します。舞台と客席が融合する、ライブ演奏をお楽しみいただければ嬉しいです。

客席に 臨場感を 届けたい

*A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラ 団長 魚谷 昌克

*

本日は演奏会にお越しくださいませ誠にありがとうございます。今回の演奏会は、「オリジナル志向の吹奏楽団」という *A-Winds* の原点に立ち返り、コロナ禍で落ち込んでしまった弊団の活動の、新たなスタートとなる演奏会にしたいと考えています。活動自粛の間に減ってしまった団員数も復帰や新入団によって各パートが充実し、バランスの良いサウンドを響かせることができるようになってきました。活動が途切れ途切れになっていた期間にはできなかった、吹奏楽オリジナルの大曲にも取り組んでいます。

演奏する曲は、第一部では有名ミュージカルの劇中歌をメドレーにした楽曲を取り上げました。耳なじみのあるメロディーの数々は多くの方に親しんでいただけるものと思います。また第二部では、美しい旋律をお楽しみいただける吹奏楽オリジナル作品を選びました。

新型コロナウイルス感染防止対策を最大限実施しながらの実施となるため、制約のあるものにはなりますが、ご来場の皆様にお楽しみいただけるものになればと思います。

“*A-Winds*60”2022年 春の演奏会 実行委員長 尾登 勇介



お知らせ



A-Winds の **Twitter** と **Instagram**・**Facebook** アカウントのお知らせ

Twitter : @A_WindsNara Instagram : a_winds_nara

Facebook : @A.Winds.Nara

ホームページ : <http://www13.plala.or.jp/A-Winds/>

団への問い合わせ : awinds.nara.since1999@gmail.com

入団・見学の問い合わせ : a.winds.nara.contact@gmail.com

演奏会のご案内、練習日程等々をお知らせします。フォローよろしくお願ひします。



*A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラ

Piccolo

佐藤 由加里

Flute

佐藤 司(印刷)

魚谷 陽子

大塚 由起

南 結香

Oboe

桶谷 牧子

Bassoon

桶谷 美咲

鈴木 沙織

B♭ Clarinet

竹村 明恵

近藤 晴美(休団)

八木 彩乃

中嶋 有沙

中山 詩織(宣伝マスコミ)

Alto Clarinet

大西 晴己

Bass Clarinet

林 美幸(休団)

森口 悠斗

Alto Saxophone

三宅 利幸(休団)

山野 飛鳥(休団)

島田 博一

Tenor Saxophone

初岡 和樹

Baritone Saxophone

八木 理

Horn

久野 耕三

大田 雅美

西島 華奈子(休団)

山本 道靖(休団)

坂元 栞

Trumpet

魚谷 昌克

谷田 弥生

山本 洋介(休団)

大西 伸幸(休団)

井上 寛治

乙川 佳世

三方 裕司

Trombone

小泉 文浩

田中 由美

赤羽 孝文(チラシデザイン)

寺阪 清貴

Euphonium

尾登 勇介(実行委員長)

原田 桃花(宣伝ミニレター)

Tuba

吉村 優花

堤 正治郎

Contra bass

佐藤 良一

Percussion

九鬼 将馬

黒瀬 恵里

谷口 麻子

辰己 竜之介♪

山本 滯♪

Piano

八木 真木

Announcer

境 貴子♪

団員数 46名

♪ = エキストラ

() = AW60実行委員

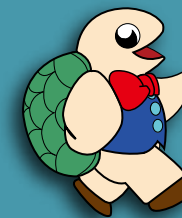
*A-Winds*ミュージック・アドバイザー 潮見 裕章



プロフィール

1995年、大阪音楽大学を卒業。これまでにチューバを石崎一夫、武貞茂夫、西谷尚生、ロバート・トゥッチ、故トーマス・ウォルシュ、ロジャー・ボボの各氏に師事。国内外でソロリサイタルを多数開催し、アメリカ・ヨーロッパ・アジアの国際フェスティバル等にもゲストとして多数出演。今までに5枚のソロCDをリリース。大阪交響楽団チューバ奏者。大阪音楽大学非常勤講師。

A-Winds 60 SINCE 1999 NARA AMATEUR WIND ORCHESTRA 2022年 春の演奏会



2022年3月13日(日) 14:00開演 (13:30開場)

DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール

主催 ● *A-Winds*奈良アマチュアウインドオーケストラ

後援 ● 奈良県・大和郡山市・大和郡山市教育委員会・奈良県吹奏楽連盟



第1部

指揮：潮見 裕章

吹奏楽のための「エール・マーチ」

«YELL MARCH» for Wind-Brass Ensemble

○作曲：宮下 秀樹 / HIDEKI MIYASHITA

○出版：全日本吹奏楽連盟

○演奏時間：約4分

2020(21)年度全日本吹奏楽コンクール課題曲の一曲です。作曲者の宮下秀樹氏は中学校の教諭として吹奏楽部の指導に携わる中で、懸命に練習に励む生徒たちの姿や、運動部の活動で必死にエールを送りあう姿を見て、「誰かを応援したいときに演奏できる曲に」という思いで作曲したそうです。曲名の「エール」には作曲者のそのような願いが込められています。もとは運動部の選手激励会での入退場を使うために作曲していたということで、行進する選手たちも足取りが思わず弾むような軽やかさと、胸を張りたくくなるような勇ましさを兼ね備えた曲調と、中間部のコラールが美しい曲です。

指揮：魚谷 昌克

「サウンド・オブ・ミュージック」ハイライト

Highlights of the Musical "Sound of Music"

○リチャード・ロジャース / RICHARD RODGERS

○編曲：樽屋 雅徳 / MASANORI TARUYA

○出版：fostermusic Inc.

○演奏時間：約8分

「ドレミの歌」などでおなじみの「サウンド・オブ・ミュージック」は、物語の主人公となるマリア・フォン・トラップの自叙伝をベースにしたミュージカルで、1959年にブロードウェイで初演されました。1965年には映画化され、ともに世界的な大ヒットを記録しました。

舞台は1938年、第二次世界大戦直前のオーストリア。修道院で修行中であったマリアは自由奔放な性格で、規律を破ってしまうこともしばしば。みかねた修道院長から退役軍人の邸宅で子どもたちの家庭教師をするよう勧められます。妻を亡くし、7人の子どもたちを育てていたトラップ大佐。その躰は軍隊式で子どもたちは常に笛の音で呼び分けられており、遊びも歌も知りません。そんな彼らにマリアは優しく名前を呼びかけ、歌を教えます。子どもたちは戸惑いながらも徐々に心を開き始め、打ち解けるようになります。トラップ大佐もマリアの人柄に徐々に惹かれていきます。そんな中、オーストリアを併合したドイツは前大戦の英雄であるトラップ大佐に軍務への復帰を求めますが、かねてから反感を抱いていた大佐はこれを拒否。家族に危険が及ぶ前に一家を連れてアルプスを越え、スイスに逃れることを決意します。

♪サウンド・オブ・ミュージック / Sound of Music

♪ドレミの歌 / Do-Re-Mi

♪私のお気に入り / My Favorite Things

♪さようなら、ごきげんよう / So Long, Farewell

♪エーデルワイス / Edelweiss

♪すべての山に登れ / Climb Ev'ry Mountain

指揮：魚谷 昌克

レ・ミゼラブル セレクション

SELECTIONS FROM LES MISÉRABLES

○作曲：クロード＝ミシェル・シェーンベルク / Claude-Michel Sch.nberg

○編曲：ウォーレン・バーカー / WARREN BARKER

○出版：Editions Musicals Alain Boublil

○演奏時間：約10分

もとはヴィクトル・ユゴーの同名小説を原作としたミュージカル作品で、1985年にロンドンで初演され好評を博して以来、多くの国で上演され親しまれています。その劇中歌の中でも特に有名なものをメドレーにして演奏します。

舞台は格差と貧困にあえぐ民衆が自由を求めて立ちあがろうとしていた19世紀フランス。貧困にあえぐ主人公ジャン・バルジャンは家族のためにパンを盗み、その罪で19年間投獄されます。

仮釈放されたものの生活に行き詰まった彼は再び盗みを働きますが、その罪を見逃し赦してくれた司教の真心に触れ、身も心も生まれ変わろうと決意。マドレーヌと名前を変え、市長にまで上り詰め人々の尊敬を集めます。

そんなバルジャンを執拗に追いかける警官のジャベール。そして、不思議な運命の糸で結ばれた薄幸な女性ファンテーヌ。彼女から愛娘コゼットの未来を託されたバルジャンは、ジャベールの追跡をかわしてパリへ逃亡し、コゼットに限りない愛を注いで父親として美しい娘に育てあげます。

そんな中、パリの下町では革命を志す学生たちが蜂起する事件が勃発し、誰もが激動の波に吞まれていきます……。

♪一日の終わり / At The End of The Day

♪夢やぶれて / I Dreamed a Dream

♪宿屋の主人 / Master of The House

♪一人ぼっち / On My Own

♪民衆の歌が聴こえるか？ / Do You Hear The People Sing?

第2部

指揮：潮見 裕章

ハンティンドンセレブレーション

A Huntingdon Celebration

○フィリップ・スパーク / Philip Sparke

○出版：Anglo Music Press

○演奏時間：約5分

この曲はイングランド中東部、ケンブリッジシャー州ハンティンドンを中心に活動しているアマチュアバンドである、ハンティンドンシャーコンサートバンドの創立10周年を記念して委嘱された作品です。

この祝典序曲は主題のパッセージをベースとした明るいファンファーレから始まり、クラリネットとサクソフォーンによる優しくテンポの良い主旋律と、ユーフォニアムの対旋律が朗々と歌われる主題部へと移行していきます。そして金管楽器群による中音域のゆったりとしたコラールを経て、再び主題部のメロディーがさらに多くの楽器によってより盛大に奏でられ、華やかに締めくくられます。春先のさわやかな風が感じられるような快活な調べをどうぞお楽しみください。

指揮：潮見 裕章

「ハイランド讃歌」組曲

Suite from Hymn of the Highlands

○作曲：フィリップ・スパーク / Philip Sparke

○出版：Anglo Music Press

○演奏時間：約20分

この作品は、「ハイランド讃歌 (Hymn of the Highlands)」として、デイビッド・キングとヨークシャー・ビルディング・ソサエティ・バンドの委嘱により作曲され、2002年ブリュッセルで開催されたヨーロッパ・ブラスバンド選手権において初演されました。オリジナルのブラスバンド版は7つの楽章からなり、すべてスコットランド高原地方の名にちなんでいます。すべての楽章が吹奏楽版への編曲に適しているわけではないため、吹奏楽版の作成にあたり、スパークは3つの楽章、すなわちアルドロス城、アラデール、そしてダンドネルを選び、本日演奏する『「ハイランド讃歌」組曲 (Suite from Hymn of the Highlands)』を完成させました。

第一楽章であるアルドロス城はクラリネットとバスーンのソロから始まり、続いてバグパイプを模したメロディーが現れます。速いテンポの中間部では最初のテーマが形を変えて現れ、最後はゆっくりしたテンポで終わります。

スコットランド高原東部にある河の名前にちなんだアラデールは、サキソフォントリオとパーカッションをフューチャーした6/8拍子のゆったりとした楽章です。スパーク特有の明るく美しいメロディーは、皆さんの心に安らぎと幸せをもたらすことでしょう。

最終楽章であるダンドネルはスコットランド高原西部の海岸地方にある小さな村にちなんで名付けられました。曲は、勇敢な主題に始まり、トランペットによるファンファーレを経て荒々しいプレストへと展開します。第一楽章で聴かれたバグパイプチューンが再び登場したあと、エネルギー溢れるエンディングを各楽器が熱演し幕を閉じます。

第1楽章 アルドロス城 / ARDROSS CASTLE

第2楽章 アラデール / ALLADALE

第3楽章 ダンドネル / DUNDONNELL



A-Winds メンバー募集

● 募集パート

Oboe	2名	：	Euphonium	1名
※イングリッシュホルンもお持ちの方、まずはこちらにご相談ください!!		：	Tuba	1名
E ^b Clarinet	1名	：	Contra Bass	1名
B ^b Clarinet	3名	：	Percussion	5名
Horn	2名	：	Stage Manager	1名

● A-Winds の活動趣旨(ウインドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方

● ご自分で楽器を準備できる方

● 全ての活動に賛同頂ける方

● 18歳以上の方

● 詳細はお問い合わせ下さい。

問い合わせ先は<e-mail>a.winds.nara.contact@gmail.com